

●小さな拠点づくり事業今後の展開  
〈小さく始めてみんなで成長していける地域づくり〉

# やどばいみんなでふれあい・支えあい地域づくり事業

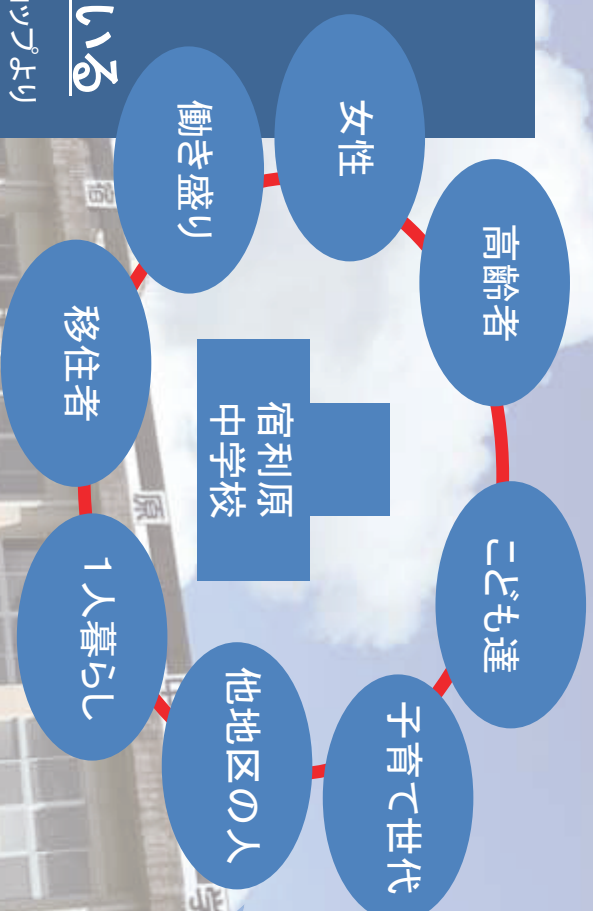
支える予算

地域への思いを  
持つ方からの  
『ふるさと納税』

地域が必要と  
考える補助事業

(集落ネットワーク圏形成事業・グリーンスローモビリティ実証実験事業・地域交通グリーン化事業など)

- 拠点活用の  
**3つ**のキーワード
1. 触れあえる
  2. 誰かの役に立つ
  3. 交通が確保されている
- ※H29年度再編事業検討ワークショップより



取組み (例)	【やどばいお役立ち人市】	【シルバー食堂&宅食】	【見守り活動】 【スマートフォンビジネス創出】 等
	※住民の方々の得意分野を持ち寄る講座やサービスの提供を行なうチャレンジショップ。		

少しづつステツザアツツ

## グリーンスローモビリティの導入実証実験「やどばいdeおでばい」

※電動で時速20kmで走行するカート型のモビリティ(乗り物)

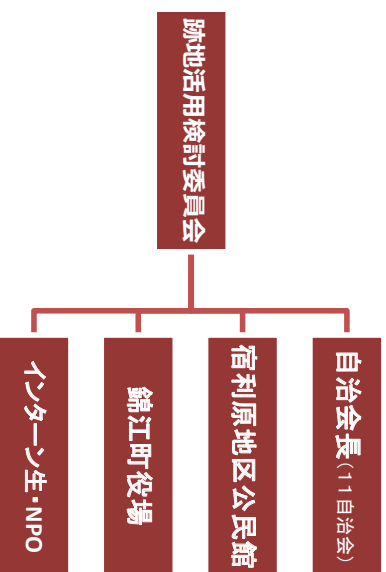
# 宿利原（やどりはら）地区集落ネットワーク圏（鹿児島県錦江町）

平成30年度 第1回地方創  
生推進本部会議資料

事業名： やどばいみんなであれあい・支えあい地域づくり事業

事業の概要	総事業費(千円)	申請額(千円)
<p>廃校となった旧宿利原中学校を改修した拠点を整備し、併せて地区内を循環する新たな交通手段の実証実験をすることによって、集落を超えた交流を持ち、自分達の出来る範囲の中で誰かの役に立つという生きがいを見つけ人口急減社会の中でも対応できる住民自治の実践を行なう。</p>		
<p><b>主な事業内容</b></p> <p>1. 地域の学校づくり事業                      ■みんなで地域づくり会議 ■地区合同サロン(ミニデイ) ■放課後学習室                      ■小中学生向け遠隔学習塾</p> <p>2. コミュニティビジネス創出                      ■住民の方々の得意分野をサービスとして提供するチャレンジジョブ ■多世代交流の場となる食堂・運営 ■地区のスーパースタック ■民泊施設としての活用 ■見守り活動を兼ねた宅配食 ■青ハト隊による見守りのソーシャルビジネス化 ■運営スタッフが生きがい、楽しみと思える運営体制づくり</p> <p>3. グリーンスローモビリティ導入実証実験                      ■導入可能性の検証・実証実験 ■高齢者の送迎 ■子ども達の学校への送迎</p>	<p>事業実施主体</p> <p>跡地活用 検討委員会</p>	<p>総事業費(千円)</p> <p>申請額(千円)</p> <p>実施スケジュール</p>
<p>跡地活用検討委員会</p>	<p>跡地活用 検討委員会</p>	<p>跡地活用 検討委員会</p>

## 事業実施体制



女性部会・長寿  
会・小学校・PTA・  
農畜産グループ・  
消防団・子ども会  
育成会・郷土芸能  
保存会等

## 図面・写真等



平成20年3月に廃校。平成29年には、  
検討委員会ワークショップ等を経て改  
築計画策定。

小学生・学校PTA・女性部会・長寿  
会等の階層ごとに改修計画のため  
のワークショップを行いました。